NIE実践報告

1．タイトル：　保戸島新聞を作ろう

2．学校名

大分県津久見市立保戸島小学校

3．実践者名（代表者名）

酒見裕子

4．学年

第４・５学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間

6．単元（本時の学習課題）名

保戸島新聞を作ろう～昔からある一本釣りと少なくなってきたマグロ船を取材しよう～

7．目標(狙い)

保戸島漁業の歴史について学ぶことにより、マグロ漁や一本釣りに誇りを持ち、ふるさと保戸島の海を、大切にしていこうとする気持ちを持つことができる。

8．評価の視点

見出しや表現方法を工夫しながら、保戸島のマグロ漁や豊かな海を誇りに思う気持ちを、新聞にまとめることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

（１）テーマを決めて、調べよう。「新聞を読んで興味のある記事のスクラップより」５時間
（２）保戸島新聞を作ろう（２０時間）　（３）見学したことを、新聞に書こう。７時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（１）マグロの漁獲量が、減ったのはなぜだろう　・・・２Ｈ
保戸島新聞を作ろう～昔からある一本釣りと少なくなってきたマグロ船を取材しよう～
（２）保戸島の漁業を調べてみよう　・・・５Ｈ
○マグロ漁　○一本釣り
（３）一本釣りを体験しよう　・・・２Ｈ
（４）調べたことを新聞にしよう　・・・８Ｈ
○新聞社の方から学ぼう　○新聞を書こう
（５）学んだことを発表しよう　・・・３Ｈ
○作った新聞を発表し、意見交流をしよう
○新聞を地域の人に配ろう

11．児童・生徒の反応、感想・意見

○保戸島に住み、マグロ漁に携わっている人を知っていたり、日頃一本釣りの船を目にしたりしているが、保戸島の漁業について知らなかったことに気づいた。地域のことについて関心が高まった。
○働く人の苦労や努力に気が付き、これからの保戸島の漁業の発展について考えることができた。

12．成果と課題

○マグロ漁や一本釣り漁に取り組んでいる人々の頑張りや工夫に目がむき、自分達の住む保戸島のよさを友だちに伝えようという気持ちを育んできている。
○今回の「保戸島新聞を作ろう」では、様々な人との出会いが子ども達にとっての学びを深いものにした。